



【安全衛生社長方針】

◆ 社長メッセージ

安全は全ての業務の基本である。社員が安心して働くことができる職場環境を確保するとともに、心と身体の健康を保ち、安全に働くことができるように、全員参画の安全衛生活動を推進する。

◆ 安全衛生方針

- 1 労働安全衛生に関する法令や社内規定、ルールを遵守する。
- 2 不安全行為を行わず、不安全状態を放置せずに注意・改善し、安全な作業環境を実現する。
- 3 整理・整頓・清掃を徹底し、安全な作業環境の維持・改善に取り組む。
- 4 リスクアセスメント、危険予知活動等の安全衛生活動を推進し、計画的なリスク低減および災害発生前の改善・注意喚起に取り組む。

◆ 重点活動（社長の安全目標）

「安全は全てに優先する」という強い意志を持って、昨日よりも今日の、今日よりも明日の現場を安全にするために行動する。

- 1 ひと仕事、ひと片付けの徹底
一日二回現場を巡視し、ひと仕事ひと片付けができていない現場は、その場で社員に声をかけ、5Sを今以上に徹底する。
- 2 指差呼称の更なる定着
毎月の指差呼称実技演習により作業の危険ポイントを明確にし、自分と仲間の身を守るために、指差呼称による安全確認の重要性を言い続けます。
- 3 ヒヤリ・ハット活動の重点実施
ヒヤリ・ハットによる作業の危険要因吸上げを重点実施する。
全てのヒヤリ・ハットをよく読み、対策が実行されていること、安全が向上していることを現場で確かめる。

社員が事故なく怪我なく一日の仕事を終えて、笑顔で帰ることを強く願い、日々行動する。ご安全に！

令和4年3月31日
代表取締役社長 浅井 外喜代